

〈手足口病について〉

南部保健所管内では、定点あたりの報告数が**9.67**と、前週に引き続き報告レベルを超えています。

・手足口病とは

口腔粘膜及び手や足などに現れる水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス感染症で幼児を中心に夏季に流行が見られます。感染は、排出されたウイルスが手を介して口に入ることによるもの(経口感染)、せきやくしゃみによるもの(飛沫感染)や接触感染で起こり、潜伏期は3~4日程度です。有効な抗ウイルス剤などはありませんので、**手洗いの励行などの予防が重要です**。口の中の症状が強くなったときには、水分不足にならないように注意が必要です。特に、乳幼児のいる家庭は十分注意して下さい。

〈マイコプラズマ肺炎について〉

例年の同時期と比較し県内での患者報告数が増加しています。全国的にも同様に報告数が増加しており、約8年ぶりの高い水準となっています。

手洗いの励行、場面に応じたマスク着用、発熱や痰を伴わない咳が続く場合は、早めの受診などの対策をお願いします。

〈インフルエンザについて〉

県内では第43週に流行期に入りました。管内でも前週より増加しています。流水・石鹸による手洗い、アルコール製剤による手指消毒等を心がけましょう。

今後の感染予防・感染拡大防止に向けた注意喚起「4つのお願い」

1. 「基本的な感染対策」で感染予防！

室内の換気、手洗いの励行、咳エチケット、場面に応じたマスク着用など

2. 「ワクチン接種」で重症化予防！

高齢者や基礎疾患のある方は、特に接種をおすすめします。

3. 「体調おかしいな？」は休んで感染の拡大防止！

少しでも体調に異変を感じたら、ちゅうちょせず休みましょう。コロナは5日間、外出を控え療養を。

4. 解熱剤等の常備薬を準備！

体調不良時の療養に備え、早めに準備しておきましょう

体調に変化を感じた場合は、早めに医療機関を受診してください。

南部保健所(0972-22-0562)

感染症発生動向調査の結果(南部保健所管内)

《定点報告》

令和6年第46週(11月11日~11月17日)

《全数報告》

	インフルエンザ			COVID-19	RSウイルス	咽頭結膜熱(プール熱)	A群レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑(リンゴ病)	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	肺炎マイコプラズマ	麻疹	麻疹(はしか)	百日咳
	A型	B型	不明															
0歳										0.33								
1~3歳	0.20		0.20			0.33				5.00		0.33			0.33			
4~6歳	1.00						1.67			3.67					0.33			
7~9歳	1.80		0.40				0.67			0.67					2.67			
10~14歳	1.60			0.40				0.33	0.67						2.00			
15~19歳									0.33						2.00			
20歳以上				0.40				0.33							1.33			
計	4.60		0.60	0.80		0.33	2.33	0.67	1.00	9.67		0.33			8.67			
70歳以上(再掲)																		
前週	0.60			0.60	0.33		5.33	1.67	0.33	19.33		0.67			5.67			

警告レベル

注意報レベル

※感染症発生動向調査について

○感染症については、原則医師からの報告により全数を把握していますが、インフルエンザなどの特定の疾病については、指定された医療機関(定点)からの報告で発生状況を把握しています。(定点医療機関数 インフルエンザ5箇所、小児科3箇所)(ここにあげた数値は、1定点あたりの平均の患者数となります。)

○警告レベルは大きな流行が発生または継続していると疑われることを指します。注意報レベルは、流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いことを、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

掲載内容について、不明な点がある場合は、下記へお問い合わせください

大分県南部保健所

電話 0972-22-0562

Eメール a12085@pref.oita.lg.jp

FAX 0972-25-0206

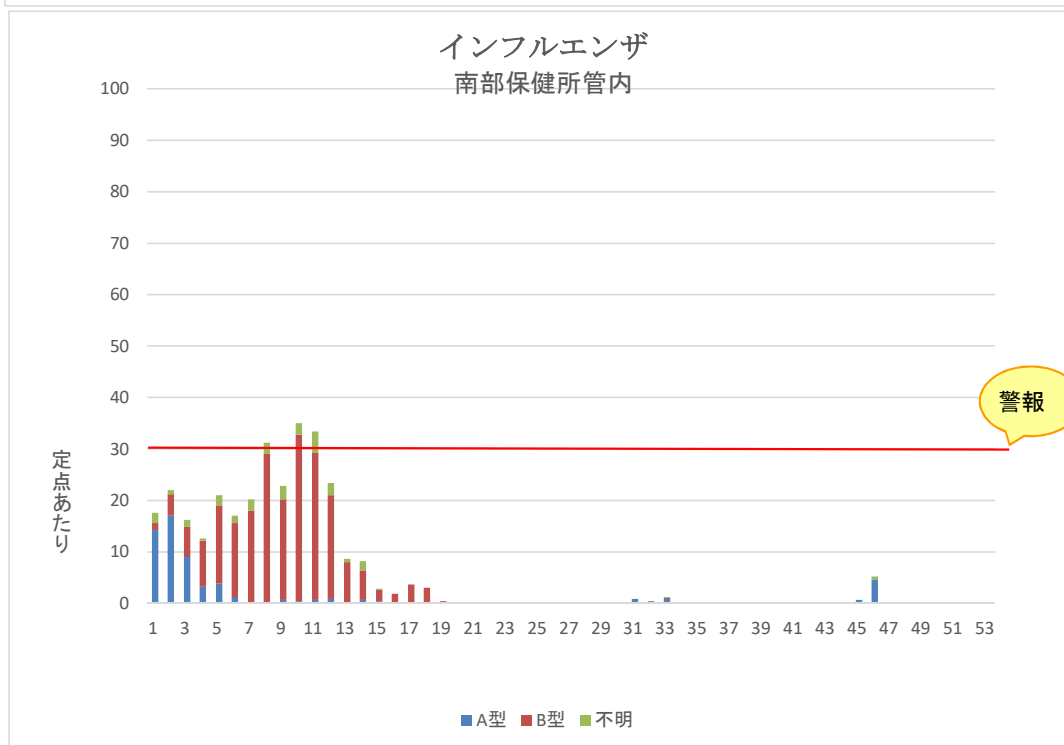
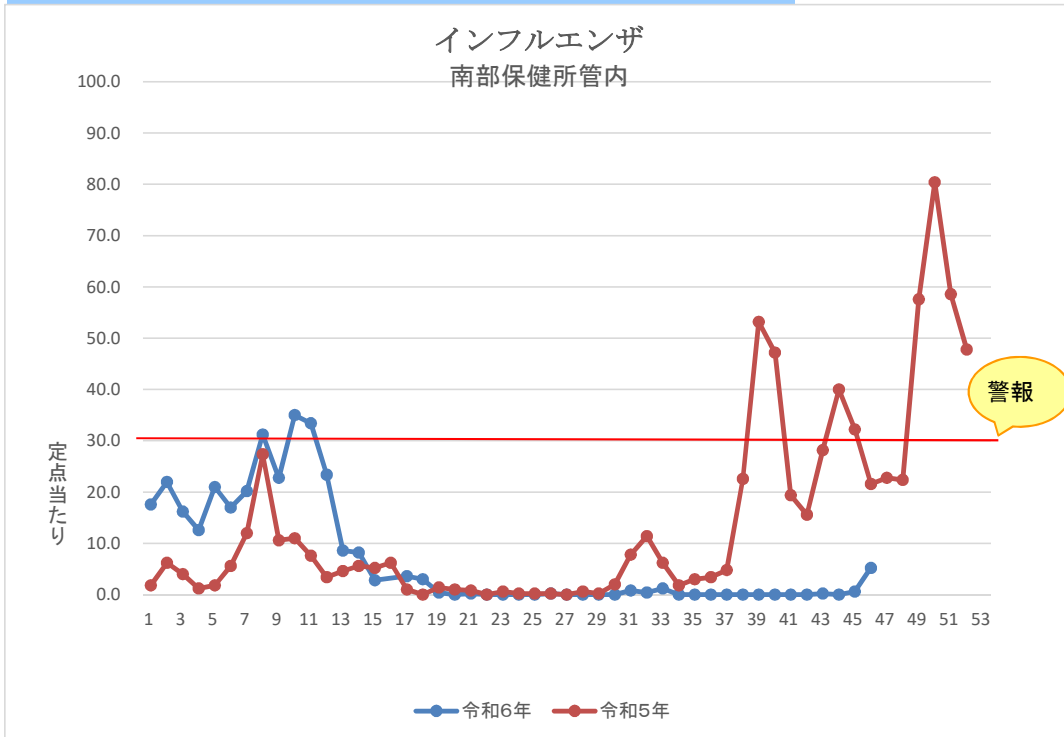
新型コロナウイルス感染症の定点報告結果

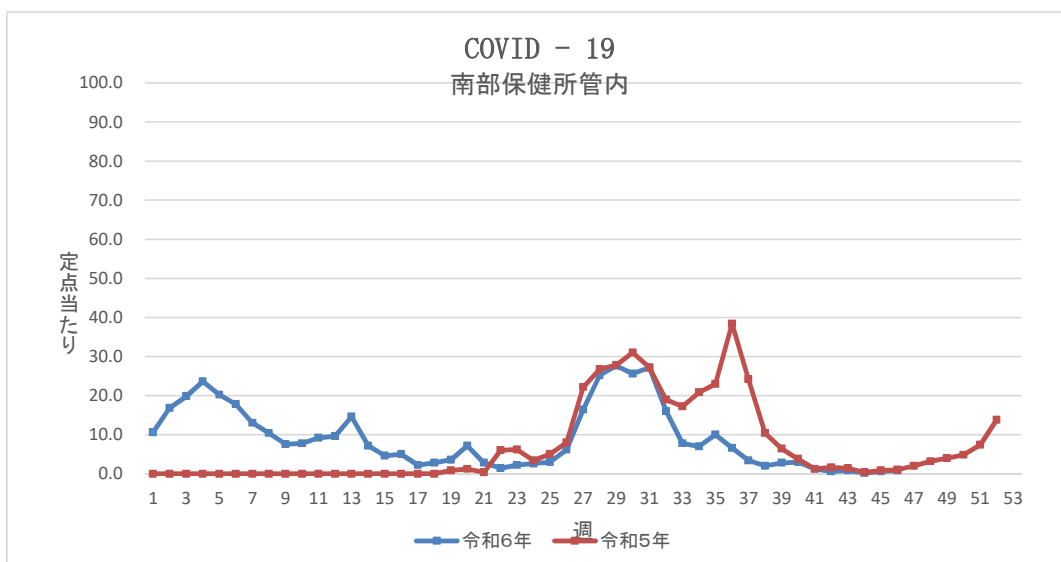
週	期間			報告数	定点あたり
1	1/1	～	1/7	53	10.60
2	1/8	～	1/14	84	16.80
3	1/15	～	1/21	99	19.80
4	1/22	～	1/28	118	23.60
5	1/29	～	2/4	101	20.20
6	2/5	～	2/11	85	17.00
7	2/12	～	2/18	65	13.00
8	2/19	～	2/25	52	10.40
9	2/26	～	3/3	38	7.60
10	3/4	～	3/10	39	7.80
11	3/11	～	3/17	46	9.20
12	3/18	～	3/24	48	9.60
13	3/25	～	3/31	73	14.60
14	4/1	～	4/7	16	3.20
15	4/8	～	4/14	23	4.60
16	4/15	～	4/21	25	5.00
17	4/22	～	4/28	11	2.20
18	4/29	～	5/5	14	2.80
19	5/6	～	5/12	18	3.60
20	5/13	～	5/19	36	7.20
21	5/20	～	5/26	14	2.80
22	5/27	～	6/2	7	1.40
23	6/3	～	6/9	11	2.20
24	6/10	～	6/16	13	2.60
25	6/17	～	6/23	15	3.00
26	6/24	～	6/30	31	6.20
27	7/1	～	7/7	82	16.40
28	7/8	～	7/14	126	25.20
29	7/15	～	7/21	138	27.60
30	7/22	～	7/28	128	25.60
31	7/29	～	8/4	136	27.20
32	8/5	～	8/11	80	16.00
33	8/12	～	8/18	39	7.80
34	8/19	～	8/25	35	7.00

新型コロナウイルス感染症の定点報告結果

週	期間			報告数	定点あたり
35	8/26	～	9/1	50	10.00
36	9/2	～	9/8	33	6.60
37	9/9	～	9/15	17	3.40
38	9/16	～	9/22	10	2.00
39	9/23	～	9/29	14	2.80
40	9/30	～	10/6	15	3.00
41	10/7	～	10/13	6	1.20
42	10/14	～	10/20	3	0.60
43	10/21	～	10/27	4	0.80
44	10/28	～	11/3	1	0.20
45	11/4	～	11/10	3	0.60
46	11/11	～	11/17	4	0.80
47	11/18	～	11/24		
48	11/25	～	12/1		
49	12/2	～	12/8		
50	12/9	～	12/15		
51	12/16	～	12/22		
52	12/23	～	12/29		
53	12/30	～	12/31		

グラフで見る佐伯地域の感染症発生状況





疾患ごとの警報・注意報の基準値は以下のとおりです。

疾病	警報レベル		注意報レベル 基準値
	開始基準値	終息基準値	
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—
感染性胃腸炎	20.0	12.0	—
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	—
伝染性紅斑	2.0	1.0	—
百日咳	1.0	0.1	—
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0
急性出血性結膜炎	1.0	0.1	—
流行性角結膜炎	8.0	4.0	—

なお、基準値はすべて定点点当たりの値です。また注意報の数字が入っていないものは、注意報の対象外という意味です。